

公開実用新案 昭和61-195657

④日本国特許庁 (JP)

④実用新案出願公開

④公開実用新案公報 (U)

昭61-195657

④Int. Cl. *

H 04 M 1/21
3/42

識別記号

府内整理番号

Z-7608-5K
8125-5K

④公開 昭和61年(1986)12月5日

審査請求 未請求 (全頁)

④考案の名称 電話器発信装置

④実願 昭60-78961

④出願 昭60(1985)5月27日

④考案者 牛田 唯一 横浜市港南区上大岡西2丁目9番10号 東洋リビング株式会社内

④考案者 伊藤 達雄 横浜市金沢区谷津町230番地

④出願人 東洋リビング株式会社 横浜市港南区上大岡西2丁目9番10号

明細書

1. 考案の名称 電話器発信装置

2. 実用新案登録請求の範囲

電話ダイアルまたはブッシュ（短縮含む）発信通話時の電話交換作業中の時間（相手が応答するまでの時間）帯を特定用語または音楽・コマーシャル等を発信者側に送信する回路構成を付加した電話送・受信器の構造

3. 考案の詳細な説明

本考案は電話発信ダイアル（またはブッシュ作動、以下同じ）操作後、交換作業中の非通話時間を利用する目的のために考案したものである。

構造要旨を基本構成回路図で説明すると発信側電話器 1 から回線 5 を通り、電話交換機 2・3 にて連結し、回路 6 を通り、相手先電話器 4 に連する。ここにおいて、本考案は交換機 2・3 が作動し始める（すなわち、最初のダイアル 1 段）と同時にあらかじめ設定した用

語または音声等を発信者側電話器上に発信する。発信時間はダイアルによる交換操作中の数秒間を利用するものである。相手側の受話器4が開通状態と同時に、この発信は停止する如くしたものである。この作用を回路図では発信装置7として表示したものである。

この数秒間の発信音は種々の用途があり、例えばP.B.、コマーシャル、音楽等目的により利用する。

また、受話器（電話器）にあらかじめ音声回路を設定しておき、受話器を持ちダイアル操作するまでの時間（または操作中）の数秒間を音楽等に利用する。

本構成による効果として3～5秒の空き時間を音楽・廣告宣伝等に利用することにより、短時間であるが利用が広範囲であり繰り返し作用のため効果が大きい。

4. 図面の簡単な説明

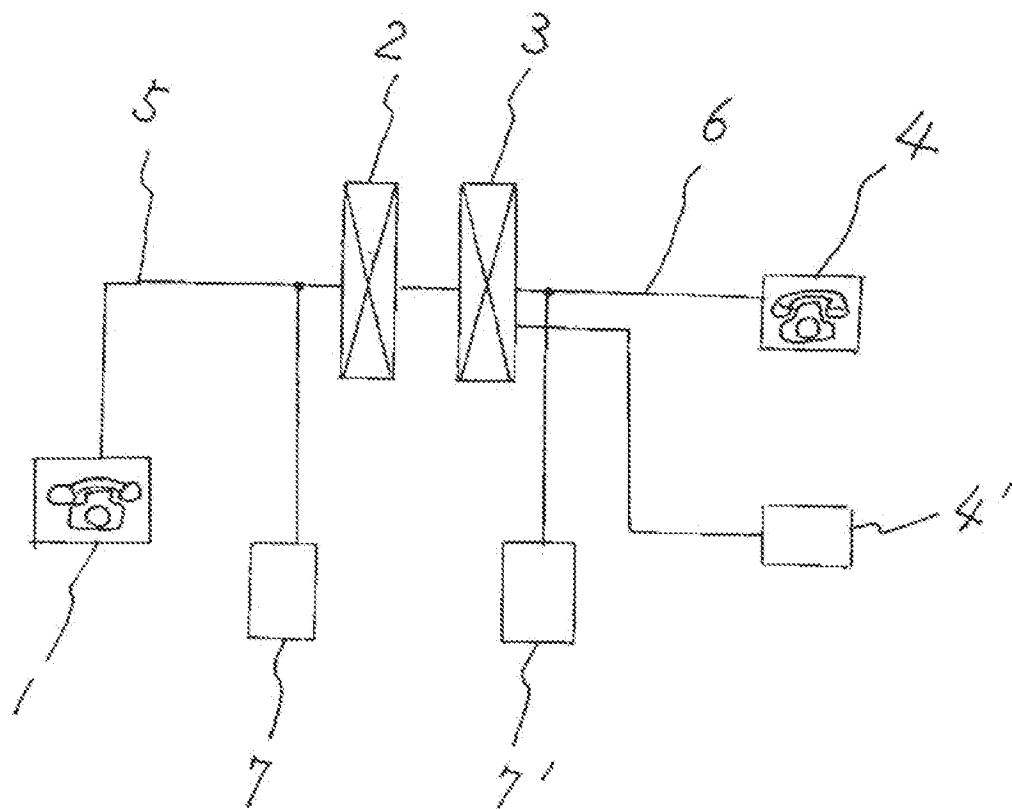
第1図は本考案電話機発信装置の基本回路図を示す。

1.	4.	電話器	5.	6.	回路線
2.	3.	交換機	7.	7'	特定用語発信器

出願人 東洋リビング株式会社

東洋リビング

外観図



出願人 東洋リビング株式会社
牛田唯



595

実開61-195657